

8 コロナ終息に伴うサービスの変化や将来の見通しについて(自由記入欄)

- 現時点では予測がつかない。
- 社会の変化に伴って自社サービスの内容も大きく変えていく必要に迫られている。悲観的にならざるを得ない。
- 営業のやり方が変わる可能性があり、印刷物はますます減少するかもしれない。
- コロナ終息後にテレワークがどの程度定着するのか。またそれはどの分野なのか。コロナは続くと予想していますが、ワクチンができて安心な社会になるのはいつなのか。経営するうえでは、コロナのいく末が自社の運命を変えようと思っています。
- 二波・三波に備え準備している。この冬には必ず来るのでマスク・消毒液・ペーパータオルの確保、非接触型体温計を数本購入します。
- ただいま評価の最中です。次代の仮説を作るにはもう少し時間がかかります。わが社の次世代経営者に任せようと思っています。
- 紙を伴うサービスが、規制緩和と新常态でのワークスタイルの変化により、電子データでのドキュメント管理が加速することによる懸念。一方、電子取引をベースとするサービスのビジネスチャンスが生まれる。そして、テレワークが常態化することによる、顧客接点のあり方についての新しいトライアルが必要となる。
- 紙ベースの仕事の減少。
- そもそも事業形態の見直しの必要がありました。このコロナを好機ととらえ組織の見直しができる。
- まだまだこの1年はコロナの第2波、第3波を警戒した営業・体制でのぞむ。
- 現状まったく予想できません。
- プリンター出力、印刷等、紙へのアウトプットがこれから先どのように変化するのが心配です。
- 顧客からの営業自粛要請や県外移動制限等により顧客の現状把握ができていない状況です。今後は必要とされるアウトソーシングの内容も、依存度も、そしてアプローチの方法も変化すると思っています。将来の見通しはわかりませんが、業務内容を柔軟に変化させながら早急に新規事業に取り組み、実行しないと会社の存続ができません。
- テレワークの定着により、電子化業務が一時的に増加すると予想するが、長期的にはペーパーレスの加速であり一層のデジタル分野への取り組みスピードを上げていく必要がある。
- 急にサービスそのものがデジタル化に変化した。企業継続支援金が活用できた。
- コロナ感染拡大の第2波がきた場合、今後の影響は不明。

9 組合に望むこと(自由記入欄)

- 業界団体として側面支援を考えてほしい。
- 新しい取り組み等の事例情報が欲しい。会費を下げてほしい。
- コロナ対策、あるいは関連記事の掲載をお願いします。
- 毎日のような中央省庁の経営支援情報は非常にありがたかった。売り上げが落ちていくなか、なぜか安堵したのはその情報と事前の準備ができたからです。引き続き情報発信をお願いしたい。あらためて国家の存在意義を考えました。組合も同じであり非常時にできることは何かを即座に考え瞬時に行動することが必要です。またリモート会議などの新しい手段を活用して業界内のコミュニケーションを深めてほしい。
- メーカーのアイデアをもっと前向きに働きかける。例えば、Webセミナーの実施、Zoomを使った組合内のコミュニケーションの活性化など。また他団体との交流を図り、周辺ビジネスの目を向ける。次世代を中心とした施策に予算をつけて新しいビジネススタイルなどを支援する。
- 同業他社のコロナ対策事例、成功事例、エピソードなどを知りたい。
- 良いも悪いも事例発表。情報交換の場となることを期待します。
- 組合員の機械などの不具合やトラブル等の情報共有。
- 情報収集および方針を明確にしてほしい。

コロナ禍による 経営影響度緊急アンケート調査

速報版

平素は組合事業にご支援とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、6月13日に締め切りました「緊急アンケート調査」の速報版を作成しました。調査に際しましては多くの組合員様のご協力を頂きました。紙面をお借りして深く御礼を申し上げます。

コロナの影響が顕在化するなか、全国の組合員様から仲間たちの動向に関する問い合わせが数多くありました。組合はかかる非常時に少しでも組合員様のお役に立つよう活動をしていますが、その一環として国の支援策の情報提供と共に業界の調査を全国的に実施しました。

4月・5月の2か月の結果が出た6月初旬を機と捉え全国に配布をしました。組合員様の経営状況と国の支

援策対応や勤務体制などを詳らかにし、さらにポストコロナの業界将来を論じていただき、そのなかで組合は何をすべきかの提案も頂戴しました。

組合員各社様はそれぞれの最善手を尽くしこの危機を乗り越えようとされています。その第一歩としては事業の継続です。その先に光があるものと信じています。本速報版の意味するところは、それぞれが独りで苦勞しているのではなく、多くの仲間も同じような条件でコロナと闘っているという状況をお伝えすることにあります。組合員は共に手を取り合い励ましあつてこの危機を乗り越え次代へと発展しましょう。ご一読いただければ幸甚に存じます。

近畿ドキュメントサービス協同組合
理事長 楠本 雅一

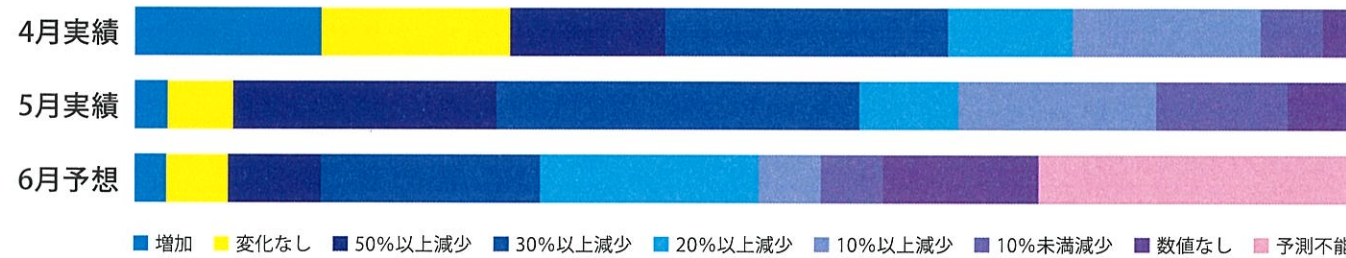
- 注記1：速報版においては調査結果に対するコメントは省きました。各経営者の感性でご判断ください。
- 注記2：回答総数 70 社
沖縄・DS 連パートナーズ／8 社・九州 DS／12 社・近畿 DS／39 社
東京 DS／5 社・情報創造／6 社
- 注記3：今回の速報版は紙面の都合上「近畿 DS」だけを掲載しました。DS 連所管の全国版はあらためて「情報と複写」に掲載の予定です。
- 注記4：年度後半に継続調査を考えています。その際もご協力のほどよろしくお願いいたします。

組合員（経営者）緊急アンケート【近畿DS:39社】

— 新型コロナウイルス問題の事業への影響について —

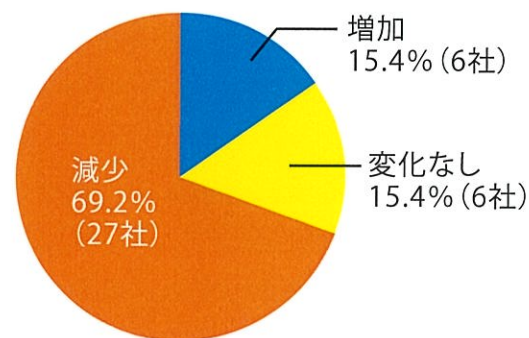
■4・5月上実績 および 6月予想

対前年売上	増 加	変化なし	減 少						予測不能
			50%以上	30%以上	20%以上	10%以上	10%未満	数値なし	
4月実績 (回答:39社)	15.4% (6社)	15.4% (6社)	12.8% (5社)	23.1% (9社)	10.3% (4社)	15.4% (6社)	5.1% (2社)	2.6% (1社)	
5月実績 (回答:37社)	2.7% (1社)	5.4% (2社)	21.6% (8社)	29.7% (11社)	8.1% (3社)	16.2% (6社)	10.8% (4社)	5.4% (2社)	
6月予想 (回答:39社)	2.6% (1社)	5.1% (2社)	7.7% (3社)	17.9% (7社)	17.9% (7社)	5.1% (2社)	5.1% (2社)	12.8% (5社)	25.6% (10社)



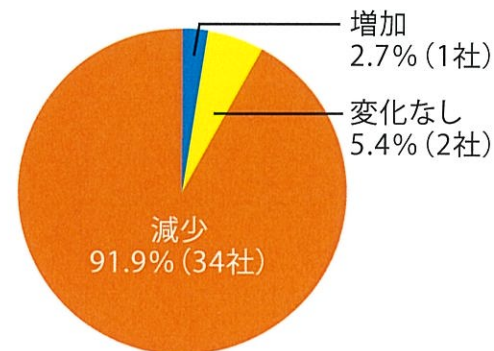
1 4月売上について(前年比)

減少平均値(対前年度同月比)：-30.4%



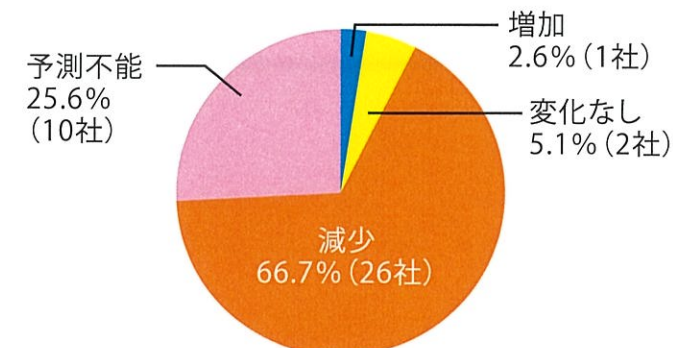
2 5月売上について(前年比)

減少平均値(対前年度同月比)：-30.9%



3 6月以降の売上見通しについて(前年比)

減少予測平均値(対前年度同月比)：-27.5%



4 下記の内、申請されたものはありますか

①	資金繰り支援による融資(民間金融機関)	35.9% (14社)
②	" (政府系金融機関)	28.2% (11社)
③	雇用調整助成金	43.6% (17社)
④	小学校の臨時休業に伴う保護者の休暇取得支援	12.8% (5社)
⑤	テレワーク助成金	10.3% (4社)
⑥	その他の支援事業(持続化給付金)	10.3% (4社)
⑦	" (家賃補助)	2.6% (1社)
⑧	" (県の助成補助金等)	2.6% (1社)
⑨	" (休業協力金)	2.6% (1社)

5 経営に与える影響について

①	資金繰り(借入を増やす)	43.6% (17社)
②	給与削減の検討	7.7% (3社)
③	人員削減の検討	17.9% (7社)
④	事業の見直し	41.0% (16社)
⑤	会社の存続の検討	10.3% (4社)
⑥	特に影響なし	10.3% (4社)
⑦	その他(固定経費見直し)	2.6% (1社)
⑧	" (賞与カット)	2.6% (1社)
⑨	" (半年続けば現体制維持は困難)	2.6% (1社)
⑩	" (現状は影響ないが、今後は可能性あり)	2.6% (1社)

6 緊急事態宣言下におけるの貴社のお客様の働き方について

①	休業の実施(%程度)	64.1% (25社)
②	テレワークの実施(%程度)	76.9% (30社)
③	時差出勤の実施	64.1% (25社)
④	その他(就業所間短縮)	2.6% (1社)
⑤	" (自宅待機)	2.6% (1社)
⑥	" (顧客多数につき詳細不明)	2.6% (1社)

7 緊急事態宣言下におけるの自社の社員の働き方について

①	休業の実施(%程度)	66.7% (26社)
②	テレワークの実施(%程度)	25.6% (10社)
③	時差出勤の実施	61.5% (24社)
④	その他(就業時間・営業時間短縮)	10.3% (4社)